

## Have a Break, Have a Smile with 和の心。抹茶を味わう会



待ちました！「こちらでちょっとブレイクしようか」とい言葉。暖冬と言われてはいますが、やはり春の訪れは待ち遠しいもの。皆様の丸めがちな背に、乾燥気味のお肌に、少しの休息をと1丁目で企画したのは「お茶会」です。

茶道の心得のある職員が茶筌(ちゃせん)を使って抹茶を点て、茶道用の茶碗で頂きます。和菓子店から仕入れた羊羹を添えて。何ともいえないお茶の香ばしさが漂い、羊羹の上品な甘さにうっとり。普段食事介助をさせていただく方もご自身で召し上がっていました。そして、ご覧のようなスマイルが。和の心を相棒に、和やかなひとときでした。



## 花見のお供を予行演習!? あん巻きを焼いて準備 OK デイサービス



開花予想が発表されました。明石は、暖冬の影響で少し早めの3月25日頃。意中のひと、桜を待たずとも、菜の花やムスカリ、ネモフィラなどのブラッサムたちがシーズン・チェンジをしっかりと告げに来てくれていますね。気が急いで、青葉台の木につばみが出来ていないか毎日チェックするご婦人も通所されるここデイサービスうおずみでは、花見に連れて行く団子選びに余念がありません。



そこで、3/7(木)~8(金)、あん巻きを焼きました。

アツアツのまま頬張って「美味しい!」とご覧のビューティーフェイスに。団子の準備は万端。あとは開花を待つのみです。



# 厨房だより 諸説あるミステリアスな料理、ジンギスカンをあなたへ



モンゴル帝国を率いたチンギス・カンが遠征の陣中で兵士のために作らせた？源義経が北海道経由でモンゴルへ渡ってジンギスカンとなった？

様々な逸話が伝わるこの羊肉を使った料理ですが、一般的には北海道の郷土料理とされています。

うおずみで提供されたものは、一見野菜炒めのように見えますが、タレに漬け込んだ玉ねぎ、もやし、人参などと一緒に焼き上げた逸品。ここでは豚肉を使ってアレンジしています。牛若丸はモンゴルの砂漠でさらに武勇伝をつくったのか？あなたも、ミステリアスに味わってみてください。

## メニュー・カミングスーン

3/14 《ホワイトデー》 海老フライ、蟹クリームコロッケ、パニラパパロア、

3/20 《春分の日》 炊き込みご飯、鯖の木の芽焼き

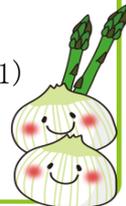
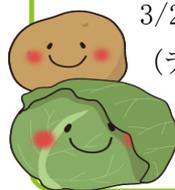
3/25 《ご当地フェア・愛知県》 味噌カツ

3/28 《にぎり寿司》

(デイは+3/29、4/1)

4/3、6、9

《花見弁当》



## 私の戦記

②③ 内藤久美子様の場合

終戦時、私は18才でした。大阪市内で生まれましたが、疎開して三島郡茨木町(現・茨木市)に住んでいました。そこで女学校通いや勤労奉仕(工場の事務職)をしました。畑で採った芋のツルなどを食べ、衣類は配給という生活だったことが印象深い記憶として残っています。当時自宅は6人住まいで、父(95歳まで存名)は住友製鋼の工場長、母(82歳まで存名)は主婦。長兄、次兄(衛生兵)は共に戦地へ駆り出されてゆきました。十分な栄養も摂れず規制ばかりの生活で毎日不安でしたが、家族が皆健在だったことが救いです。最近TVでウクライナなどの情報が入ってきますね。戦争はダメです。すぐにおやめなさいと言いたいです。



## 新年度へ、ワクワク?ドキドキ?のうおずみ

《訪問理美容》 3/15(金)は毛染めの方のみ。

毎月の理美容:3/25(月)、4/22(月)、5/27(月)

《7丁目》 ケーキづくり 3/11(月)13:30~

《観桜会》 3月下旬~4月上旬、

いい頃合いに青葉台へ!

《面会お休み》 3/20(水・祝)



## 編集後記

ご高齢の方と接する時「困った困ったこまどり姉妹」や「なるへそ」などと返すのは鉄板ネタでしょうか。

一方、若い人と話す時、頑張って「KY」とか「写メ」「ヤバイ」などのZ世代ワードを使ってみると…

もう「死語」なんだとか。イケてる人がキレのある何かをし始めると、それが流行り出し、私が流行り物に手を出すとその流行が終わって行きます…嗚呼。下手に背伸びするのは控えて、時代に着いていけるぐらいに市場調査をと。その方がナウくてバッチ・グーっと。何?それも死語?めんごめんご。あっ、これもですね。そんなに指摘されると、プツン。あ、またやっちゃった。早くヤバイ青葉台の桜を見たいです。



▲奥様のお誕生日をご主人が祝う!